

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	国立研究開発法人科学技術振興機構運営費交付金に必要な経費			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官	後藤 浩平	
会計区分	東日本大震災復興特別会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立研究開発法人科学技術振興機構法			関係する計画、 通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」 (平成23年7月29日東日本大震災復興本部決定)			
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災からの復興に向けて、科学技術振興機構(JST)の知見や強みを最大限活用し、科学技術イノベーションの創出に貢献する。具体的には、被災地企業、関係行政機関等のニーズを踏まえた被災地の科学技術イノベーションの創出、計測分析技術・機器の開発に関する機構の実績を活かした放射線計測分析技術・機器・システムの開発を行う。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	マッチングプランナーの活用により、被災地企業のニーズを発掘し、これを解決できる被災地を始めとした大学等の技術シーズとマッチングさせ、産学共同研究を実施するほか、被災地ニーズを踏まえた全国の大学等の技術シーズの育成強化及び技術シーズの被災地企業への移転促進、東北産業界が望む特定テーマに関する技術的課題の解決のための基盤研究を実施する。また、放射線計測分析に係る先端計測分析技術・機器の研究開発を推進する。							
実施方法	その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	3,354	2,299	487	-	-	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	3,354	2,299	487	0	0		
	執行額	3,354	2,299	487				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 27 年度
	独立行政法人通則法で定められている年度評価において標準評価以上を目指す。	年度評価結果(標準評価以上(※)の割合) ※平成25年度評価まではA評価以上。平成26年度評価からはB評価以上。	成果実績	100	100	100	-	100
			目標値	100	100	100	-	100
			達成度	%	100	100	100	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	被災地復興に向け研究開発を実施した件数	活動実績	課題	463	109	5	-	
		当初見込み	課題	467	109	5	-	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	執行額(百万円)/研究開発件数(課題)	単位当たり コスト	百万円/課題	7.2	21.1	96.2	-	
		計算式	執行額/研究開発件数	3354/463	2299/109	487/5	-	
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由				
		-	-					
	計	0	0					

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	7 イノベーション創出に向けたシステム改革(旧 7 科学技術・学術政策の総合的な推進)							
	施策	7-1 産学官における人材・知・資金の好循環システムの構築(旧 7-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 30年度	目標年度 32年度
		地域の企業ニーズと大学等の技術シーズとのマッチングによる共同研究件数	実績値	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	600	1,000
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	科学技術振興機構の運営費交付金において行う事業によって、施策目標である「産学官における人材・知・資金の好循環システムの構築」が図られる。								
	改革項目	分野:	文教・科学技術、外交、安全保障・防衛等						
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 30年度	目標最終年度 32年度
		地域の企業ニーズと大学等の技術シーズとのマッチングによる共同研究件数	成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	600	1,000	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 30年度	目標最終年度 32年度	
	企業から大学等・公的研究機関への研究費総額(2009～2013年度平均:約0.1兆円(A))(目標値はA比)	成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	件	-	-	-	1.1	1.2	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
科学技術振興機構の運営費交付金において行う事業によって、地域の企業ニーズと研究費総額に寄与する。									

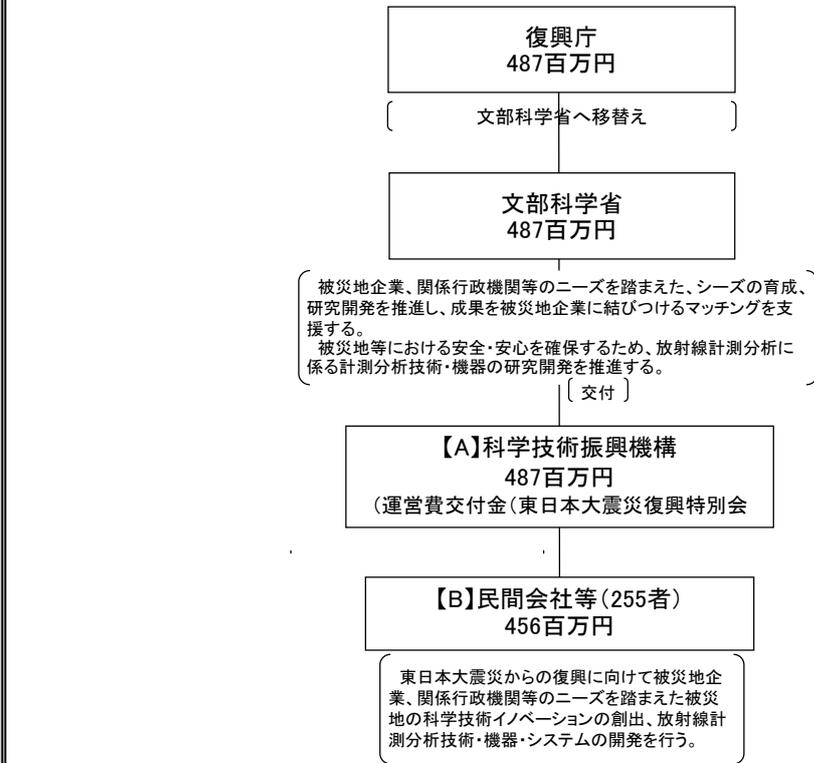
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興本部決定)に基づいて、国として進めることが必要な施策であり、ニーズの高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興本部決定)に基づいて、国として進めることが必要な施策であり、地方自治体、民間等に委ねることは出来ない事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日東日本大震災復興本部決定)に基づいて、国として進めることが必要な施策であり、ニーズの高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争を実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っている。随意契約については、契約の性質又は目的が競争を許さない契約(事務所の賃貸借契約等)および少額随意契約のみとなっている(国と同等の基準)。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	JSTは、科学技術イノベーションの創出に向け、国民や社会ニーズを的確に反映した事業を推進し、評価結果を踏まえ受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	JSTは、科学技術イノベーション創出などの事業を推進し、評価結果を踏まえ合理的と認められる支出のみとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は被災地の科学技術イノベーションの創出、放射線計測分析技術・機器・システムの開発に限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	市場性が低く競争性が確保しにくい研究機器等については、文部科学省所管の8法人間で必要に応じて情報交換を行い、予定価格の適正化を図っている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	JSTは、主務省が示す中期目標を達成するための中期計画を策定の上、事業を推進し、評価結果を踏まえ成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	イノベーション創出に向け、大学、企業、国立研究開発法人など多様な機関間のネットワークを構築することにより、優れた人材と施設・設備などの外部リソースを活用して時限付で編成する研究開発推進体制で研究開発などの事業を推進することで、効果的に実施できている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	JSTは、主務省が示す中期目標を達成するための中期計画を策定の上、事業を推進し、評価結果を踏まえ活動実績は見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	JSTは、主務省が示す中期目標を達成するための中期計画を策定の上、事業を推進し、評価結果を踏まえ整備された施設や成果物は十分に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	JSTにおける取組は、「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月東日本大震災復興本部決定)に基づいて、国として進めることが必要な施策であり、ニーズの高い事業である。 国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争を実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っている。随意契約については、契約の性質又は目的が競争を許さない契約(建物所有者指定による修繕工事)および少額随意契約のみとなっている(国と同等の基準)。				
	改善の方向性	・上記を踏まえ、今後も科学技術イノベーションの推進を支える中核機関として積極的に取組を進める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用していくこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	事業の目的である被災地の科学技術イノベーションの創出、放射線計測分析技術・機器・システムの開発を平成27年度予算において達成しており、平成28年度以降は予算計上をしていないが、本事業で得られた知見は科学技術振興機構の他の事業にも活用していく。					
備考						
落札率について同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としているものもある。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	12	
平成25年度	043	平成26年度	062	平成27年度	0060	

※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 科学技術振興機構			B. 民間会社等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
東日本大震災復興業務経費	被災地の科学技術イノベーションの創出、放射線計測分析技術・機器・システムの開発	487	業務経費(研究委託)	(株)テクノエックス 複雑形状食品の放射能検査装置の開発	43
計		487	計		43

支出先上位10者リスト

A. 科学技術振興機構

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	科学技術振興機構	4030005012570	被災地の科学技術イノベーションの創出、放射線計測分析技術・機器・システムの開発	487	-	-	-	

B. 民間会社等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)テクノエックス	1120001140187	複雑形状食品の放射能検査装置の開発	43	随意契約 (企画競争)	16	-	-
2	(株)日本旅行	1010401023408	マッチング支援および成果展開等にかかる出張旅費支払い代行業務(職員等の旅費立替分)	31	随意契約 (公募)	-	-	-
3	明星電気(株)	2010001007784	高感度広域ガンマ線望遠鏡の開発	27	随意契約 (企画競争)	16	-	-
4	(株)第一ビルディング	1010001065445	JST復興促進センター仙台事務所賃貸借 他	19	随意契約 (その他)	-	-	-
5	三井造船(株)	9010001034946	海底土放射能分布測定ロボットの開発	16	随意契約 (企画競争)	16	-	-
6	(株)北川鉄工所	4240001034184	汚染土壌の放射能濃度測定装置	14	随意契約 (企画競争)	16	-	-
7	日本年金機構	4011305001653	マッチングプランナーにかかる年金保険料 他	14	-	-	-	-
8	(株)千代田テクノル	7010001004851	高エネルギー分解能・高スループットの国産放射能測定検査装置	10	随意契約 (企画競争)	16	-	-
9	(株)アイ・エス・シー	1013301000030	事務職員にかかる出向負担金	8	-	-	-	-
10	科学技術健康保険組合	3700150016961	マッチングプランナーにかかる健康保険料 他	8	-	-	-	-